

第2学年〇組 工業（製図）学習指導案

単元	木造2階建住宅
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木造住宅の設計図を描くことができる。 ○ 部材に適合した線種の使い分けができる。 ○ 製図道具を正しく使い分けすることができる。
指導計画	<p>第一次 平面図の作成（6時間） 第1～3時：製図の実践Ⅰ（本時） 第4～6時：製図の実践Ⅱ</p> <p>第二次 断面図の作成（6時間）</p> <p>第三次 立面図の作成（6時間）</p> <p>第四次 断面詳細図の作成（9時間）</p>
指導上の立場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の実態 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学級の生徒は、1年次に製図の書き方の基本を学習している。全体的に建築に関する興味・関心は高く、授業に真剣に取り組んでいる。しかし、他科目（座学）との関連が強いため、座学での理解度が低い生徒は、製図を描くことに苦手意識を持っている場合もある。 ○ 単元観 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本単元では、木造2階建専用住宅の図面に関する知識を習得させ、平家建住宅との違いを認識させると共に、図面を描く力と読み取る力の定着をねらいとする。 ○ 本単元で工夫する点や手だて <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりにくい部分については、詳細図を拡大した資料を見せることによって、立体的にイメージできるように工夫する。
研究仮説との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師がきちんと教えること <ul style="list-style-type: none"> ・ 図面の各部分が何を表しているか ・ 各部分（部材）の寸法 ・ 一本一本の線の意味 ○ 生徒に自分で学ばせること <ul style="list-style-type: none"> ・ 線種の使い分け ・ 図面の表現方法 ○ 関連するおもな科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築科2年 建築構造 ・ 建築科2年 建築計画 ・ 建築科2年 プランニング設計演習

<p>本時 目標</p>	<p>○ 平家建と2階建の平面図の違いが理解できる。 ○ 正確に平面図を描くことができる。 ○ 線種の使い分けができる。</p>				
<p>準備</p>	<p>① 教科書 ② 課題プリント ③ ケント紙 ④ 製図道具</p>				
<p>学習活動・内容 (下線部は, ”生徒に自分で学ばせること”)</p>		<p>準備</p>	<p>手だて (○) と評価 (◆)</p>	<p>形態</p>	<p>配時</p>
<p>1 本時の学習のめあてと流れを確認する。 <学習のめあて> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">2階建住宅の平面図を正確に描こう。</div></p>			<p>○ 過去の作品を提示し, 本時のめあてや学習(作業)内容に対する意識を高める。</p>	<p>一 斉</p>	<p>10</p>
<p>2 課題(平面図)の説明を聞く。</p>		<p>① ②</p>	<p>○ 課題プリントを配布する。 ○ 課題について説明し, 注意するポイントを指示する。 ◆ 平家建と2階建の違いが理解できているか。</p>	<p>一 斉 ↓ 個</p>	<p>20</p>
<p>3 <u>平面図を描く。</u></p>		<p>③ ④</p>	<p>○ 進行状況及び内容を確認するために, 机間巡視を行う。 ○ 必要に応じて, 個人に対し補充説明や助言を行う。 ◆ 指示通りに正確に描けているか。 ◆ 線種の使い分けが正しくできているか。</p>	<p>個</p>	<p>110</p>
<p>4 本時の進行状況を確認する。</p>			<p>○ 本時の進行状況を確認し, 遅れている生徒に対し助言する。</p>	<p>個</p>	<p>5</p>
<p>5 次時の予告を聞く。</p>			<p>○ 提出期限を確認する。</p>	<p>一 斉</p>	<p>5</p>
<p>「努力を要する」生徒への具体的な手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何から描いていいかわからない。 → 作図の順序を個別に指導する。 • 図面を読み取ることができない。 → 関連する他の図面を確認させ, 具体的な例を示すことによって理解させる。 					